

見守る力、寄り添う力

サンホセ日本人学校 校長 矢野 和彦

今号は、何があってもやり抜くという強い気持ち
を育てるには、という話です。「人として生まれたか
らには、運命にさえ挑戦するような強い気持ちを持
ちなさい」。そういう気力を子どもたちに育むこと
が、親や教師の為すべきことと考えます。なぜなら、
「生きる」ということは、限りなく続く厳しい世界
を、独力で切り開いていくことだからです。

人生の中には、うまくいかないときに、それを運
命だと甘受し、あきらめなければならぬこともあ
ります。しかし、時と場合によっては、その運命に
さえ、あえて挑戦していくような気概を身に付けさ
せておくことも大切です。何度挫折しても、這い上
がっていくような強さがなくして、どうやってこの
変化の激しい世界を生き抜くことができるのでしょ
う。

では、このような「遅しく生きる力」を身に付け
るには、どうすればよいのでしょうか。子どもが悩み、
悲しんでいると、つい放っておけず手を貸そうとし
がちです。しかし、子どもたちの持っている柔軟さ
や変化に対応する力を信じて、黙って見ていること
も大切です。そして、もし、どうしてもだめだった
ら、いつでも手を差し伸べて、子どもの力になっ
てあげればよいのです。

このような大人の「見守る力」、「寄り添う力」が、
子どもたちを遅く育ててくれるのです。管理し過ぎ
ず、子どものそばに寄り添い、小さな失敗と小さな
挫折をたくさん経験させてあげれば、やがて、やり
抜こうとする勇気を身に付けていきます。そして、
自分の知力、体力、気力を動員して、運命にさえ全
力で挑戦しはじめます。

人生の中で背負う荷物は、どんなに苦しくても、
降ろすことも、他人に運んでもらうこともできませ
ん。まして、親が子どもの荷物を代わりに背負うよ
うなことがあってはならないのです。子どもは未来
からの授かりものとして、私たちがしつかり育てて
未来に帰してあげましょう。時に厳しく、時に優し
く、見守り、寄り添いながら・・・

後期児童生徒会選挙 開校記念式典

目指せより良い学校

後期児童生徒会会長になった藤沢尊
です。僕は三つの目標を立てて後期頑
張っていかうと思います。一つ目は、
みんながもっと仲良く学校生活を送っ
てもらおうにしたいです。二つ目は、
みんなに学校をもっときれいにする習
慣をもっともらうことです。三つ目は、
行事をもっと楽しくすることです。僕
はこの三つの目標を立てて、より良い
学校を築きたいです。

会長 藤沢 尊



みんなの笑顔

後期、副会長になりました阿部京香です。
私は、サンホセ日本人学校のみんなが笑顔に
なれるようにしたいです。そのために、遊び
を考えたり、お悩み解決ボックスをつくった
りします。そして、より良い学校をつくって
いきたいです。次回は、『しんげんち』とい
うゲームを予定しています。みなさん楽しみにしてい
てください。

副会長 阿部 京香



副会長これからもがんばるよ

私は、四年生の時に執行部の副会長に
立候補しました。でも、なれなかったので、
もう一回、五年生で立候補しました。そう
したら、副会長に選ばれたので、とてもう
れしいです。初めてのことはかりだけど、
これからも行事があるので、しつ行部の仲間
と協力して、宿泊学習で楽しいゲームを計画します。
また、ポスター
を作るなど、選挙の時に約束した「自然を守る活動」も
がんばります。

副会長 大塚 咲喜



まほうの言葉ムイビエン

小学部五年 阿部 花穂

今日は、開校記念日。校歌を作った八木さ
んが、校歌の歌い方を教えてくれたのだ。
八木さんは、何回も何回も、「ムイビエン!!
ムイビエン!!」と言う。不思議な事にその言
葉でやる気が出る。コストリカの交きよう薬
団の人達も、この言葉でやる気が出たんじや
ないかなと思った。上手に歌えるようになり
ました。学校におたん生生日の歌じゃなくて、
上手になった校歌を歌ってあげたいな。



学校賞受賞

十五年連続
通算十七回目

第三十七回海外子女教育文芸作品コンクール

○小三 短歌の部 優秀賞 藤沢 満希

○小五 作文・詩の部 佳作

作文 阿部 花穂 『コストリカ事件ベスト』

詩 大塚 咲喜 『コストリカの自然』



持久走記録会

〈12月の行事予定〉

- 1日(木) 集金、個人懇談
- 2日(金) 個人懇談
- 4日(日) PTA作業 (9:00~12:00)
- 5日(月) 集金(1月分)
- 6日(火) 2学期終業式
- 7日(水) ~ 9日(金) 宿泊学習
(低学年は8日まで)
- 10日(土) ~ 冬季休業

〈1月の行事予定〉

- 22日(日) PTA作業 (9:00~12:00)
- 23日(月) 3学期始業式
- 24日(火) 身体計測
- 25日(水) 避難訓練
- 28日(土) 親子ふれあいデー
PTA総会
- 30日(月) 振替休業日



ぼくは、じきゆう走記録会で、れきだい新記録を出しました。五年生のみちひろくんについて、六周目でまさひろくんに本気でおいつきました。だから新記録を出せました。さいしよは五・六年生には勝てないと、どきどきしてましたが、ついていくことができてよかったです。新記録を出すとは思いませんでした。

小学部三年 丸山 雷拳



—御礼—

○木下秀樹様より、たくさんの本を寄贈して頂きました。今後の教育活動に活用させていただきます。有難うございました。

○川口浩様より、金一封の寄付を頂きました。有難うございました。

○9月27日(火)に、丸山真理様による5年生以上を対象とした、進路講演会が開催されました。世界的な企業で活躍する方のお話はグローバル人材の育成を掲げる本校にとって大変有意義な時間となりました。子ども達の感想を読みると、世界に向けての視野が広がったように感じました。有難うございました。



○多くの方々に児童生徒会リサイクル活動へご協力いただき、ありがとうございます。前回の回収では、5000 コロンの収入となりました。

このお金は児童生徒会のために大切に使用させていただきます。今後ともよろしくお願いたします。



インターナショナルデー

小学部二年 大塚 竜生

小学部三年 加瀬 なおみ

ぼくは、きょうげんをしました。おなかですいたたん、メリエンダを食べる時だったので、うれしかったです。おり紙とよさこいなるおどりをひろうしました。帰りにかなしくなりました。もう会えないからです。たぶんぼくは、お友だちのことをわすれないと思います。

小学部六年 澤田 正宏

中学部一年 黒川 幸太郎

僕は、初めて会う友達を楽しみに待っていました。スペイン語がちゃんとしてくれるか心配でしたが、ちよつとは友達から助けてもらい、とても楽しくしゃべれました。でも、折り紙や日本の文化を伝えるコーナーでの説明があまりよくなかったので、ペアにあんまり分かってもらえませんでした。次の交流の時は、しっかりと折り紙の作り方を教えてあげたいと思います。また、サンアンソニー校のペアに会いたいです。

インターナショナルデーは今年のペアと会える最後の日でした。その日はティコタイム、日本文化巡り、折り紙体験をしました。この三つで一番輝いているのはやっぱりティコタイムです。一か月以上前から準備をしていたからです。みんなの前に立った時はとても緊張していました。うまくいったあとは小躍りしたくなるほど嬉しかったです。今回のインターナショナルデーが本当に成功してよかったです。